

## 海の救難・環境防災にかかる自国の課題解決に活かす

～13カ国の海上保安職員が研修のため来日～

国際協力機構（JICA）の技術協力事業である研修プログラムに参加するため、13カ国の海上保安分野の職員 17 名が、11 月 5 日まで JICA 横浜センターに滞在しています。

本研修は、海上保安庁との連携で、海難救助、海上防災、海洋環境保全を任務とする機関の実務者を対象に、海難の救助、海上で発生する事故・自然災害への対応、海洋環境保全に関する知識・技能について習得を目指し、自国の経験を日本側講師・参加国研修員と共有することのできる内容となっています。

また、本研修を通じ参加国の国際人的ネットワークが強化され、『自由で開かれたインド太平洋（FOIP）』の下、研修参加国の地域の平和と安定に貢献することが期待されています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により 3 年ぶりの来日研修となりますので、是非この機会に取材・報道をご検討ください。取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。また、研修期間中は英語の逐次通訳が同行しておりますので、研修員への個別インタビューも可能です。

### <研修概要>

研修コース名：2022 年度課題別研修「救難・環境防災」

研修期間：2022 年 9 月 7 日（水）～11 月 5 日（土）

研修参加者：17 名（海難救助、海上防災、海洋環境保安分野職員）

研修参加国：インドネシア、ジャマイカ、スリランカ、バングラデシュ、フィジー、フィリピン、ベトナム、トーゴ、マーシャル諸島、マレーシア、モザンビーク、モーリシャス、モルディブ

### <今後の主な研修訪問予定先>

海上保安試験研究センター（10/25-26）

水鳥救護研修センター（10/26）

以上

【本件に関する問い合わせ先】	JICA 横浜
JICA 横浜 研修業務課 担当：片山 TEL: 045-663-3221 FAX: 045-663-3265 MOB: 080-7138-5490 e-mail: Katayama.Motoko@jica.go.jp	JICA 横浜ウェブサイト <a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/">https://www.jica.go.jp/yokohama/</a>